



(株)ツルオカ フィリピンで使用済自動車の適正処理を目指す  
 (株)北研 ネパールで小規模シイタケ農家の所得向上を目指す  
 - 「JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業」茨城県・栃木県で2件採択！ -

独立行政法人国際協力機構（JICA）は2月20日、中小企業・SDGs ビジネス支援事業において株式会社ツルオカ（本社：茨城県結城市、工場：栃木県小山市）が提案する「RECYINTパイロットモデル起点の戦略的マルチステークホルダー・プロセスによる事業化実証（ビジネス化実証事業）」と株式会社北研（栃木県下都賀郡）が提案する「ネパール国高温耐性シイタケと生産者ネットワークによるキノコ産業育成のためのニーズ確認調査」を採択致しました。それぞれの案件の概要は以下の通りです。

【株式会社ツルオカ/フィリピン】

本調査の対象国のフィリピンでは、使用済み自動車（ELV）の解体に伴う廃棄物、有害物、危険物処理の適正処理インフラが整っておらず、不適切処理が課題となっています。提案企業のツルオカ社は自社の精緻解体技術を活用したオートリサイクルシステム事業（RECYINT、読み方「リサイント」）を展開することにより、ELV リサイクルのバリューチェーンを構築し循環型経済・有害物質の適正処理への貢献を目指しています。本案件により、ELV 不適切処理による有害物質の健康・環境への影響緩和への貢献に加え、対象国でのリサイクル・有害物質適正処理のモデルが確立することが期待されます。



〔株式会社ツルオカ独自のリサイクルシステム「RECYINT(リサイント)」事業〕

本調査は「ビジネス化実証事業」として実施されます。「ビジネス化実証事業」は製品/サービスに対する顧客の受容性を確認した上で、現地パートナーを確保してビジネスモデルを策定し、収益性の検証と製品/サービス提供体制・オペレーションの構築を実施致します。尚、ツルオカ社はJICAの「RECYINTビジネスモデルの市場参入可能性にかかる基礎調査(2020年2月～2023年2月)」において市場調査・競合調査・パートナー調査等実施しており、本調査においてより精緻化された事業計画の

12 つくる責任  
つかう責任



策定を目指します。調査開始は2023年5月頃、期間は1年4ヵ月程度を予定しています。

【株式会社北研/ネパール/足利銀行連携案件】

本調査の対象国のネパールには約100のシイタケ原木栽培農家がありますが、彼らは小規模生産で、気温が高くなる季節は栽培が出来ず、通年安定供給を求める市場のニーズを満たしていないという課題があります。提案企業の株式会社北研は、同社のもつ技術を生かし、ネパールのシイタケ原木栽培農家に対して低・中・高温耐性シイタケの完熟菌床の販売・技術指導を行う構想です。この案件が、ネパール国内市場への安定供給、ひいては小規模シイタケ農家の所得向上に寄与することが期待されます。



〔北研の生産支援プログラムイメージ（HPより）〕

本調査は「ニーズ確認調査」として実施されます。「ニーズ確認調査」は基礎情報を収集し、開発途上国のニーズと自社製品/サービスとの適合性の検証を実施し、初期的な事業計画を策定するための調査です。調査開始は2023年5月頃、期間は8ヵ月程度を予定しています。



※記事化・採択企業への取材を希望される場合は、下記問い合わせ先（JICA 筑波）までご一報ください。

参考：中小企業・SDGs ビジネス支援事業とは

[https://www.jica.go.jp/priv\\_partner/activities/index.html](https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html)

2022年度公示の採択結果について

[2022年度「中小企業・SDGsビジネス支援事業」：59件の採択を決定 | 2022年度 | ニュースリリース | ニュース - JICA](#)

<p>【本件に関する問い合わせ先】</p> <p>JICA 筑波 連携推進課（民間連携担当：伏見・村上）</p> <p>TEL:029-838-1117 FAX:029-838-1119</p> <p>e-mail : <a href="mailto:tbictpp@jica.go.jp">tbictpp@jica.go.jp</a></p>	<p>茨城県、栃木県も元気にする国際協力</p> <p>JICA 筑波ホームページ</p> <p><a href="https://www.jica.go.jp/tsukuba/index.html">https://www.jica.go.jp/tsukuba/index.html</a></p>
--	--